



みなみすな

MINAMISUNA

〒190-0003 立川市栄町 2-2-1 TEL042-525-1474 FAX042-529-0940

令和 4 年 10 月 31 日

学校だより 11 月号

立川市立南砂小学校

校長 浜中 佳規

素晴らしいの意味は？

校長 浜中 佳規

学校でもよく使われる言葉の一つに、「素晴らしい」という言葉があります。その意味を調べてみました。

1 思わず感嘆するようなさまを表す。

ア (客観的な評価者として)この上なくすぐれている。際立って立派だ。

イ (主観的な評価として)きわめて好ましい。心が満たされている。

2 程度がはなはだしいさまをいう。

ア 現代用語では、多く好ましい状態について用いられる。驚くほど。

イ 近世江戸語では、多く望ましくないさまをいうのに用いられる。ひどい。

《参考までに英語では、awesome, brilliant, amazing, excellent, fantastic, wonderful, superb など、場面によってさまざまな「素晴らしい」を表す単語が使われています。》



管理職になってから、授業観察をすることが多くなりました。日常行っている校内巡回の他、教員が作成した学習指導案に基づいて行う授業観察を、年3回行います。それらの観察を通して、授業展開や子どもたちの様子等について、教員へアドバイスをします。このようなことを日々繰り返しながら、学習指導力向上を目指しています。

かつて副校長だった頃、若手教員の授業観察をしていた時のことです。その教員が子どもたちに問いかけると、子どもたちからは様々な返答がありました。そしてその教員は、子どもたちの全ての返答に対して、「素晴らしい」と褒めていました。

「素晴らしい」と、子どもたちを認め褒めることはとても良い事であると考えます。しかし、言葉の意味をよく考えてみると、全ての返答に対して同じ「素晴らしい」という言葉を使うのはどうなのでしょう。この言葉の意味は、上記のとおり、「この上なくすぐれている。際立って立派だ」です。

私はこの教師に対して、次のようなアドバイスをしました。

「全て『素晴らしい』という言葉で褒めると、『素晴らしい』の価値が下がってしまいます。例えば、はじめは『いい考えだね』、次に『とてもいい考えだね』、そして最後に『素晴らしいね』というように、段階を踏んで褒めてみてはどうですか。」

その後この教員は、場面に応じた褒め言葉を使うようになりました。教員が子どもたちを褒める時、その場面に合った適切な褒め言葉を使うことが大切です。褒められることによって、子どもたちは自信をもち、自己肯定感や達成感を得ることができます。さらに、「素晴らしい」という言葉に段階を踏んで到達することで、自己肯定感と達成感はより高められると考えます。